いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.２１３
２０２４（令和６）年１２月１５日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ

『　三つの言葉　』

今金町教育委員　　永井　章



「挑戦すること」。「あきらめないこと」。「楽しむこと」。
この三つの言葉は以前 PTA 会長だったころの卒業生への祝辞の中の言葉でした。子供たちの明るい未来に向けての思いがあり４年間ずっと伝えていました。

ところが・・・しかし・・・なんと・・・。
今年になって自分が新たに挑戦することになったのです。ある事業を引継ぎ 10 月より新しく事業主になることになりました。
子供たちには「失敗をおそれずに挑戦しなさい！」とか言っていましたが、いざ自分がこの年齢でこうなるとは思ってもいませんでした。しかし、ここで有言実行しなければ・・・。6 月から研修が始まりなかなか大変だったのですが、だんだんとワクワク感が日に日に増してきました。久しぶりに新しいことに挑戦することの楽しさを実感できました。

そうして約 4 ヶ月の研修期間が終わり 10 月１日からの事業開始日を迎えました。今までの事業と新しい事業の二刀流？ではないですけれど、１日１日を楽しく過ごすことが出来ています。そして気づくともう年末、早いもので約３ヵ月たちました。まだまだ大変なところがありますが、ここから先がより大切なところですよ！あきらめずに大いに楽しんで新事業を継続していきたいと思います。
みなさまにおかれましては、今年も大変お世話になりました。令和７年もますます素敵な良い年になりますように新年をお迎えください。

評価の即時性

「どこ見てるの？」　窓や教室の壁の方を見てボーッと考え事をする癖のあった私が、担任をしている子どもからたまに言われた言葉です。
決して褒められたことでないのですが、私にとってその頃給食の時間は家庭学習ノート（宿題はあまり出さなかった）を見て、一言書いて返す時間でもあったのです。家庭学習ノートは板書を写した授業ノートを振り返るサブノートが中心。だからどの子でもできます。（もちろんあんまり出さない子もいましたが(^_^)。
給食指導はあんまりできていないダメ教師でした･･･。まあ、元々黙々と食べるタイプで楽しく会話するような会食は得意でないかも。人の話はちゃんと聞いているのですが、自分から話題を振っていくような人間ではなく･･･。海外のディナーじゃ通用しないですね。
でも、提出物はすぐ見るようにしてきました。テストもすぐ返す。今も決裁はすぐに目を通します。だって担当者は吟味して一生懸命書いているのですから。すぐ見てあげなきゃ。評価の即時性。それだけかな。
会食なあ･･･。宴会は好きです。でも、耳の高音障がい（モワーってなって）もあって、場が盛り上がってくると話があんまり聞こえなくなって。だから話さないでちびちびと･･･。
ニコニコはしてると思うんですがね。評価は低いかなあ(^_^;)
１２月。そんなシーズンになりました。